

# 消防団 しょうぼうだんつうしん 通信

今回は、中央北分団の紹介を、第3部に今年入団した団員2名からさせていただきます。



問い合わせ先= 串間市消防本部 ☎72-4151



中央北分団第3部 団員 津曲 拓郎

私は、今年の4月から中央北分団の新入団員として入団しました。新入団員の研修では、規律や消火訓練、心肺蘇生法などを受け、消防団員としての基礎を学びました。コロナ禍という事もあり、たくさんの活動ができない中、まだまだ分からないことだらけですが、先輩団員の方々と協力していきたいと思っています。また、先輩団員から「自分たちを育ててくれた地元へ貢献できるのはうれしい事だし、今まで守っても

中央北分団は、火災や水災などの災害時における消防団活動のほか、火災予防広報活動や応急救護訓練などの普及活動を行っています。例年は、災害発生時に速やかに活動できるよう、操法訓練や放水訓練、小型可搬ポンプなどの取り扱い訓練などを実施していました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように活動ができないため、各団員個々に体を鍛え、いざと

らった分、恩返しをせないかん！」という言葉をかけていただいたことがあり、そのときに改めて地元の素晴らしさや、自分がたくさんの人たちに守られてここまで成長できたのだと再認識しました。これからは守られる側から守る側として、子どもからお年寄りまですべての人々を、火災や台風などの災害から守り、「消防団がいてくれれば安心」と言ってもらえるよう、日々まい進していきたいと思っています。



中央北分団第3部 団員 さかだ せいじ 坂田 征司

いうときに対応できるよう心がけています。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安全と安心を守ります。現在、団員の減少が問題になっています。串間市内に居住している方、ぜひとも消防団に入団してください。私たちと一緒に串間市民の助けとなる活動に参加してみませんか。

## 地域おこし協力隊 活動日記



## 風の人の土の人の No.55



甲斐 舞子 さん

新潟に移住し、アコアポニックス（次世代環境保全型農業）に挑戦している友人が「風の人」「土の人」の話をしてくれました。他の土地から新しいタネを運んでくるのが「風の人」。そのタネを受け止めて芽を出すように育み、その土地に根付いて生きていくのが「土の人」。外から運ばれてきたものと、その土が出会うことで新しい化学変化が起きて、その土地の風土が育まれていくと、友人はいろいろとチャレンジして頑張っているとのことでした。なるほど。人と人が風土を育み、たえまなく進化し続けて社会を作っていく。今の自分にしっくりきたので、「風の人」「土の人」について調べていたら、農学者で地域づくりに取り組んでいた玉井 袈裟男さんの詩を見つけました。

暖かく、和して文化を生むものを、魂を耕せばカルチャー、土を耕せばアグリカルチャー。理想を求める風性の人、現実に根をはる土性の人、集まって文化を生もうとする。ここに「風土舎」の設立を宣言する。

串間市地域おこし協力隊に着任して、もう少して2年です。一緒に着任した金栗さんと上山さんは、「風の人」のように新たな土を求めて旅立ち、田中くんは串間で「土の人」になるべく11月からきゅうり農家になります。私はこの串間という地域の中にあるものを大切に、「土の人」と一緒に風土を育んでいけたらと思っています。そして夫の道仁くんは、ピーマン農家を目指して猛烈に頑張っています。新規就農のため、ピーマンのタネをまくビニールハウス施設が串間では見つかりません。「土の人」あってこそ「風の人」。ピーマンを育てられる農地やハウス施設の情報があれば、串間市役所農業振興課、もしくは、くしまオリジナルブランド公式インスタグラムまでご連絡いただけますと嬉しいです。



「ダイエツト」特集

おいしいものを食べられることはとても幸せなことです。長い人生を健康でおいしく食べていくためにも、食事の見直しや健康維持のための運動を心がけてみませんか。食事法、レシピ本、筋トレなどの本を特集しています。



「まちのナニコレ?」

信号機、コインパーキング、電柱、踏切、街頭防犯カメラ…。道路や商店街、公園など、まちなかでよく見るものの名前や役割を、写真とイラストで詳しく紹介する。クイズ付き。



「本が紡いだ五つの奇跡」

仕事がなかなかうまくいかない女性編集者の最後のチャレンジで実現した新作小説。その小説が人々を気持ちを奇跡のように紡いでいく…。本に関わった5人の物語。「小説現代」連載を単行本化。



- 串間市立図書館 ☎ 72-1177
- 開館 = 午前10時～午後6時
- 休館日 = 毎週月曜日
- HP = <https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

### 新刊情報

- 老虎残夢 (桃野 雑派 / 著)
- 乱世を看取った男山名豊国 (吉川 永青 / 著)
- アルテミスの涙 (下村 敦史 / 著)
- 母親からの小包はなぜこんなにグサいのか (原田 ひ香 / 著)
- 女子大小路の名探偵 (秦建日子 / 著)
- たそがれ大食堂 (坂井 希久子 / 著)
- 涅槃 (垣根 涼介 / 著)
- EV (高嶋 哲夫 / 著)
- かぞえきれない星の、その次の星 (重松 清 / 著)

### イベント情報

#### 絵本作家 鈴木のりたけ氏ワークショップ

- 日にち: 11月23日 (火・祝日)
- 時間: 午前10時～正午
- 場所: 市中央公民館体育室 (旧アクティブセンター)
- 参加費: 無料

「ぼくのトイレ」「す～べりだい」など面白い作品を多数生み出している鈴木のりたけ氏とワークショップを行います。読み聞かせやサイン会、本の販売もありますのでぜひご参加ください。



## 動き出した「地域での支え合い」③

本市では、地域に住む住民が支え合い、豊かに暮らしていくための仕組みづくりとして、地域連携組織の設立を推進しています。

これまで、本城地区および都井地区の取り組みについてお知らせしてきました。

今回は、本格的な活動に向けた準備を行っている「北方地区地域連携組織設立準備委員会」(有嶋由紀夫会長)についてご紹介いたします。

北方地区は、本市が平成29年に地域連携組織の設立推進を始めた際、モデル地域として真っ先に活動を開始しました。

これまで、北方地区にとってどのような仕組みづくりを進めていくべきなのか、どのような団体などとの協働を進めていくべきか、といったことについて協議を重ねてきました。また、実際に地域での実験的な活動として、地域における住民同士の見守り活動としての声掛け運動や、児

童の登校調査、災害時の避難場所や危険個所の確認などを、有嶋会長を始め役員の方々、集落支援員によって行いました。

そしてこの度、令和3年11月5日に晴れて設立総会を開催することとなりました。

新しい組織の名称は「北方秋山郷の会(仮称)」。組織の柱となる目標として「高齢者、障がい者への支援」、「防災、防犯、災害時の対応」、「健康づくり」の3つを掲げ、来年度からの本格的な活動開始に向け、役員を中心として、自治会長や地域団体の方々と、豊かな北方地区の暮らしを持続させていくための取り組み計画を作成していきます。

「こんな地域になればいいな」「こういった課題はどうすればいいかな」といったご意見がありましたら、ぜひご連絡ください。よりよい北方地区にしていくために、北方地区に住む皆さんの声をお待ちしております。



▲北方地区では不定期に機関誌を発行しておりますのでぜひご覧ください。

【問い合わせ先】 北方地区地域連携組織設立準備委員会事務局(市総合政策課内) 担当: 立本 ☎ 55-1153